

251-300
あくな

正月
No. 251

高松川防災ダム工事現場



揚げを持つ船がいっぱいの阿久根港。背景は阿久根漁協。



坑木やチップの山



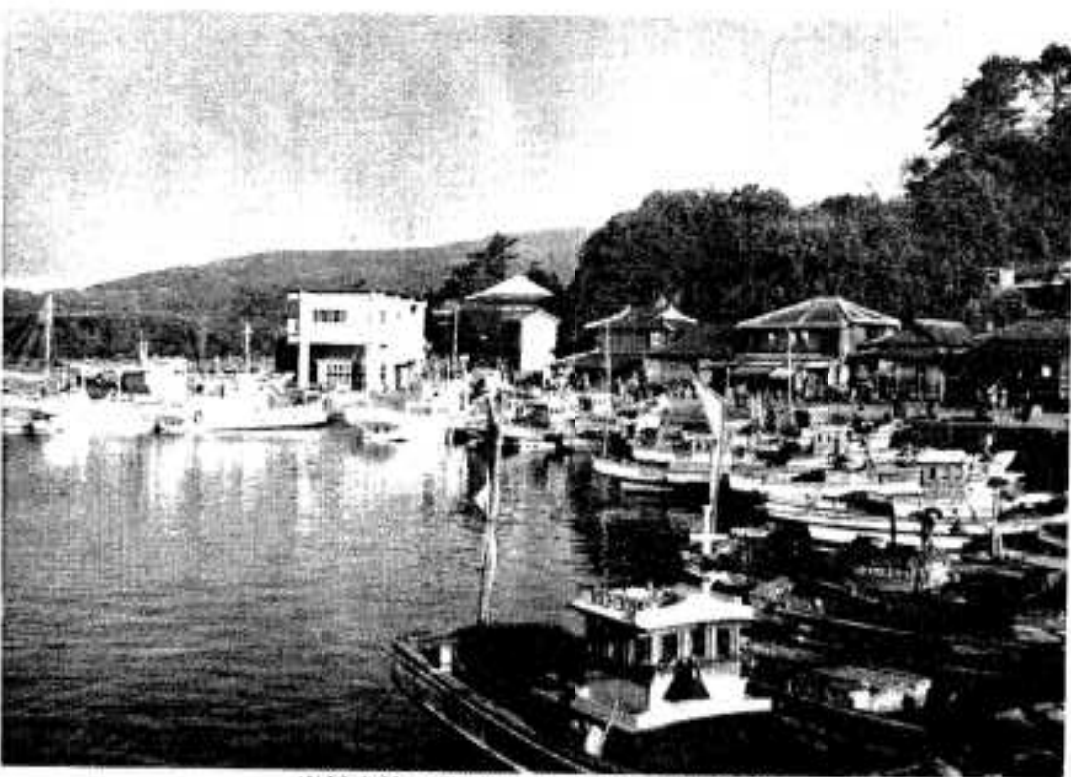
真珠養殖用として五島方面につみ出されるモウソウ竹



積みおろされる坑木やチップ材



氷をつむ船



出船を待つ漁船がいっぱいの黒之浜港



野積みされた



あふれる阿久根港



ワカメの解禁風景（阿久根大島付近）



瀬戸の「いせえび」



漁業後継者育成のため市内中学校生徒希望者を対象に水産教室
(阿久根大島)



阿久根港に水揚げされたアジ



出船入船で活気



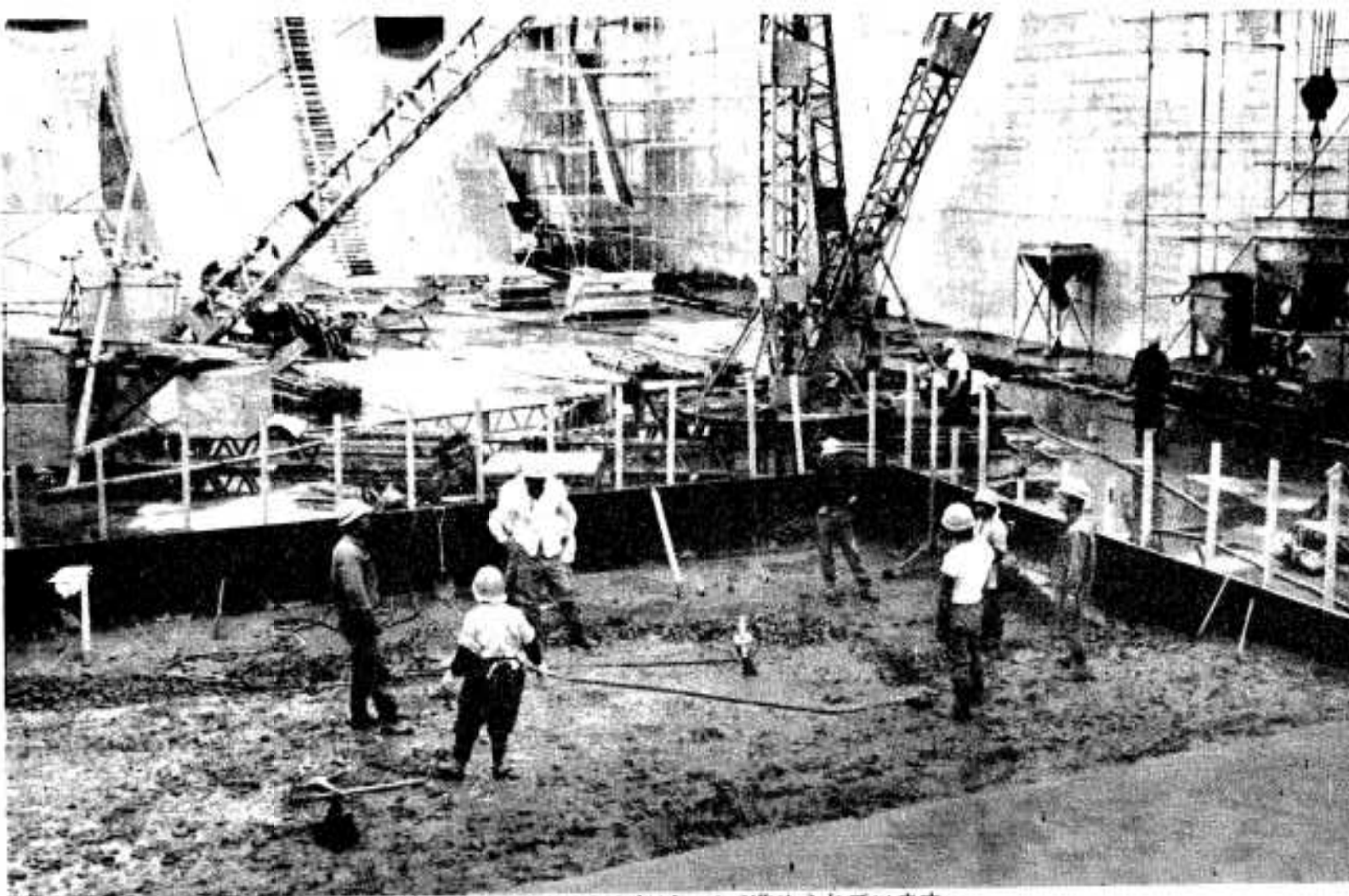
「イリコ」も阿久根の特産です。



完成もまちかい冷凍室（阿久根漁協）



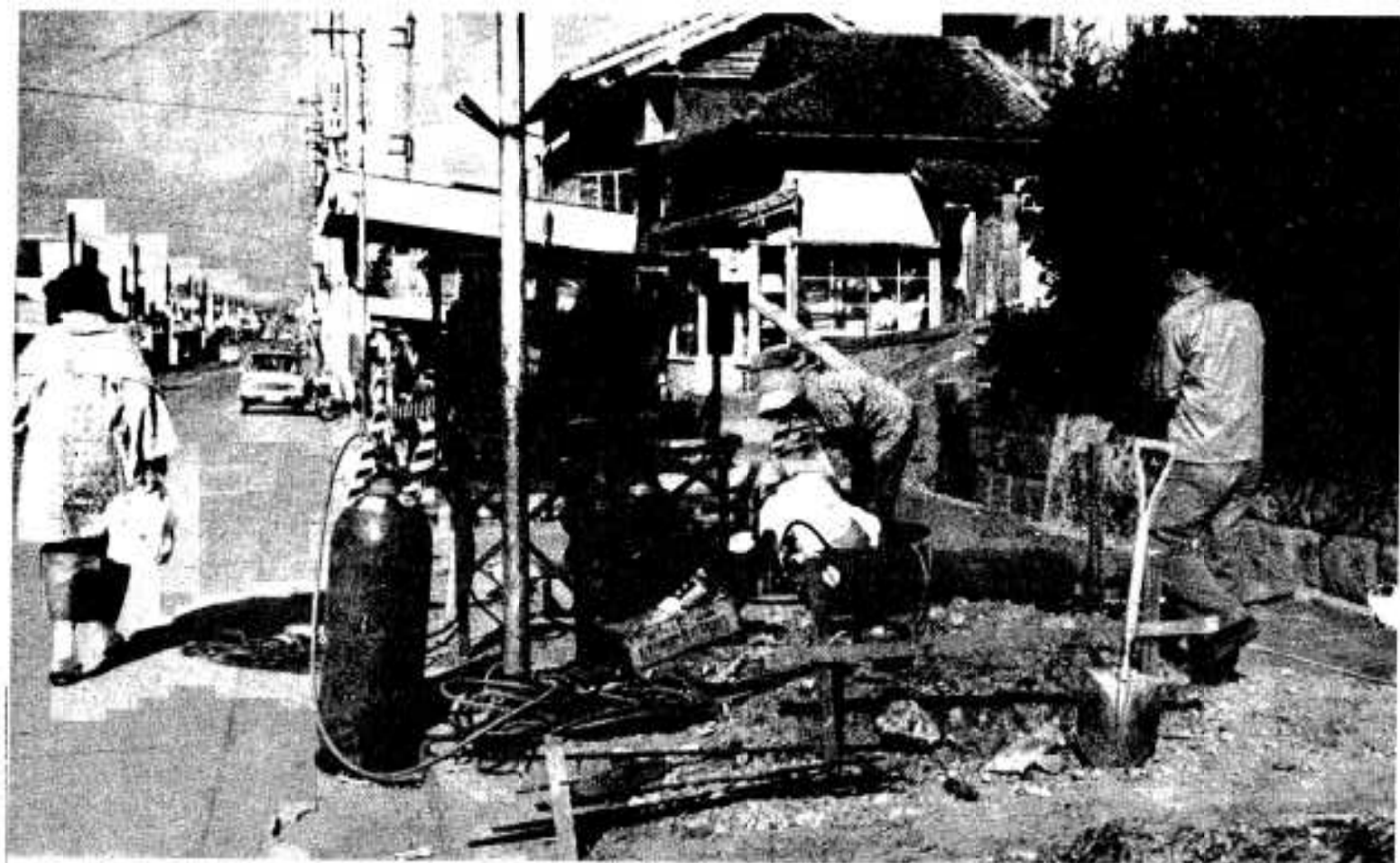
水揚げされた黒之



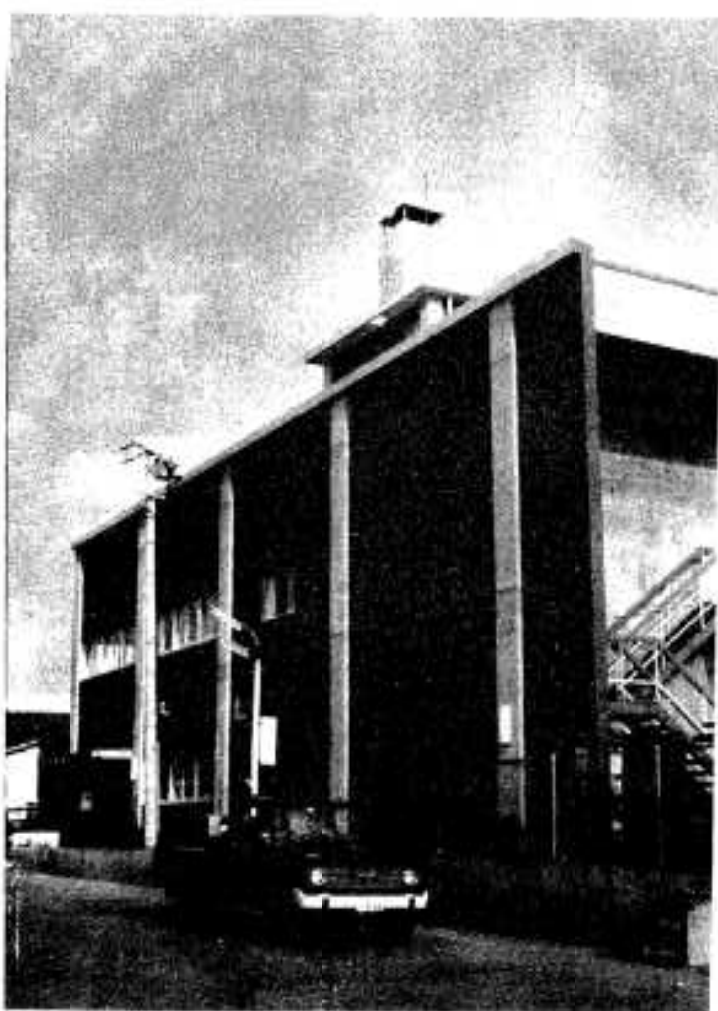
高松川防災ダム工事も急ピッチで進められています。

波留ガード国鉄かさ上げ工事も昨年3月完成。いまガード付近の道路拡張および舗装。





横断歩道橋架設工事中。本年2月までには完成します。この歩道橋が完成しますと児童生徒の登下校も安全になります。



完成した電報電話局。すでに自動化に変わりみなさまがたのお役にたっています。



新港建設も着々と進んでいます。



波留の「神舞」が10年ぶりに復活（南方神社）踊りは「瓶舞」

昨年の「ギオン祭」はいろいろな
おどりがひろうされ、町をね
りあるきにぎわいました
（市役所前通り）



赤ちゃんの健康診断は、毎年行
なっていますがこれは赤ちゃん
コンクールも兼ねています。
今年は湯の有田賢一郎ちゃんと、
波留の中野富士美ちゃんが選ば
れました（市民会館）



バレーボールは各校区一般男女各1チーム
ずつ参加し、一般男女とも臨本校区が優勝。



阿久根大島に熱帯樹ガジュマル、ビロウなど
3百本が阿久根農校生らの手によって植えら
れました。

市内に保育所が市立4、私立2、児童館3つあります
赤瀬川児童館が完成とともに、折多保育所も完成しました。(折多保育所)





している救急車



阿久根市では干害による水不足の部落に飲料水を給水しています。
(大川大角)



飲料水を給水 (牛之浜)



生活を営むのに支障
ろばれています。

熊本県牛深市に飲料水を給水 (牛深市)





牛深の給水船（阿久根港）



軌道にのった九州皮革工場



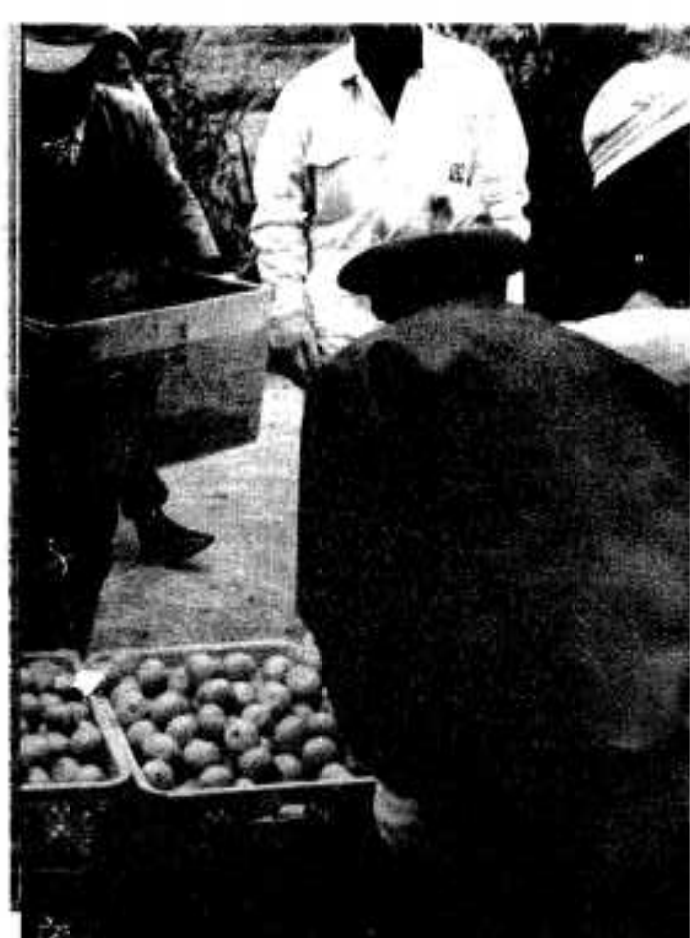
なめしから製品まで、月産1万足（皮革工場）



市民の人命救助に活躍



老人家庭奉仕員（ホームヘルパー）日常のある低所得者の老人家庭を奉仕してよ



選別され東京、大阪方面に出荷されます（園田）



たわわに実ったみかんを収穫する手もいそがしく



文旦集荷 東京、大阪方面に出荷されます。



文旦漬も阿久根市の名産です。



農業構造改善による起工式（園田）



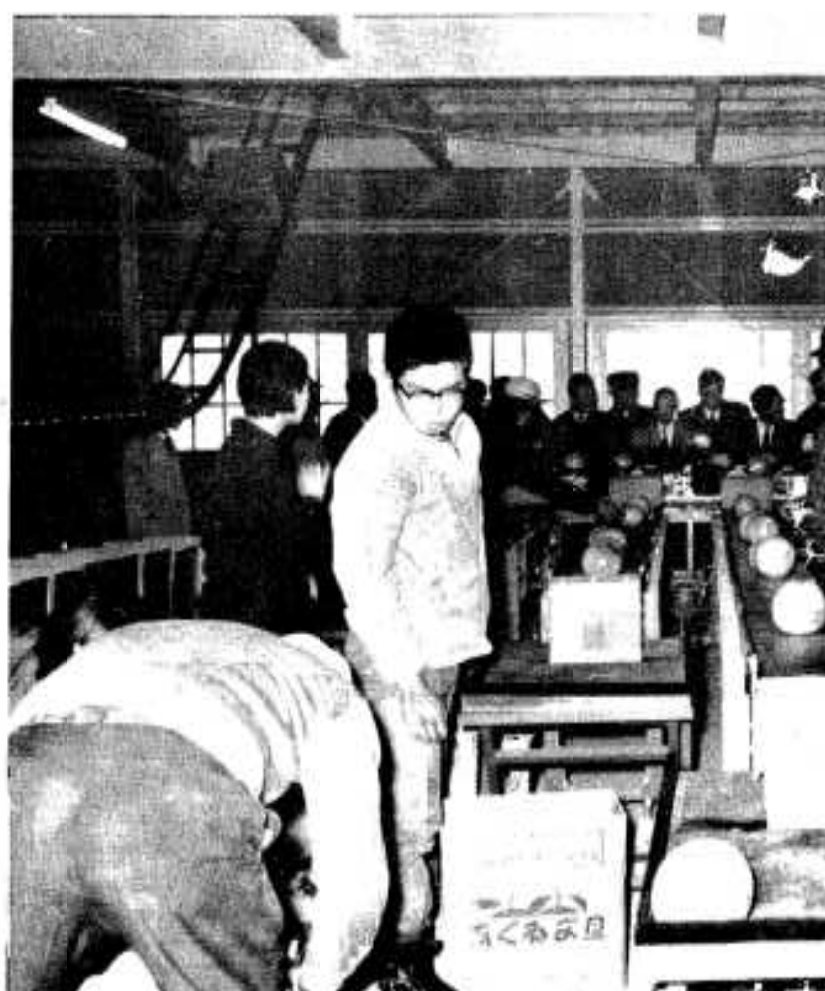
ここに出荷されたみかんは出水の選果場に運ばれ



青果市場（活気にみちています）



浜田橋の畜協前広場の畜産品評会



立日選挙場中成



清く散る桜より 風雪にたえる松に

阿久根市長 丹宗 忠

みなさま、どなたもおめでとうございます。

希望に満ちた昭和四十三年の新春をお迎えになられたことを、心からお喜び申しあげます。

この年のはじめにあたり市報で躍進する阿久根市の姿をご紹介できたのも、すべてみなさまがたのご指導のたまものと、深く感謝申し上げます。

ただ今、わたくしは、みなさまがたと共に、楽しみながら明るく美しい環境をそして市をつくりたい気持ちでいっぱいでございます。たとえば、緑化運動にしましても、わたくしどもは公園をつくって樹を植えてくれとは願いますが、できしまえば、自ら公園の美化に努めるということは想たりがちです。

公園の花や木は、市民の共有財産であるという気持ちを持つようになると、緑の街づくりもできると思えます。

「死は易く、生は難し」という言葉があります。日本人は、常に易い死の方をえらびがちです。

生き残って、己の意志を貫徹するような強い根性を持つように努めることが大

切です。

清く散って行く桜より、風雪に屈せぬ松の木の強じんきの方が必要でしょう。

今年には明治百年です。わたくしどもの祖先は、わが国貿易の先駆者として大海をのりまわし、あるいは、明治維新の志士を育て、薩摩藩の軍資金を調達したの

は、わが阿久根の河南源兵衛でした。ですから、明治維新の原動力は、阿久根にありと言ってもよいわけですね。歴史はくり返えされると言われています。このよき歴史をもつ郷土が、このままの状態でよいはずはなく

さらに栄光を求めて、全市民が一体となって立ちあがらなければならぬと思

います。それは、現代に生を受けたわたくしどもの義務だと思

います。さらに、阿久根市民の偉大さを認識して自覚し、誇りと夢をもってもらいたいものです。

くらでもあります。

そうして、現在では、ビジネス（仕事）とは、働らくことでなく、学ぶことなのです。

みなさん、農業にしろ漁業にしろ、商業であつても働らくだけでなく、十年、二十年先を考えて、準備しておかなければならないと思

います。わたくしが朝な夕なただこい願ひ、そしてつとめ急がなければならぬと思

うことは、阿久根市の発展であり、みなさまがたの福祉向上であります。

郷土のもつよさを掘りおこしてよみがえらせることすなわち、わたくしたちの祖先が遺したかおり高き文化をよりよく高め、明日の豊かな明るい街づくりをしたいということ

です。そうして、この明るく気持よい環境の中から、明日の世代を背負う有為の人材を育てて行きたいと思

います。最後に、わたくしたちは、悠久の未来があるという

成人される方へ

一月十五日は、「成人の日」です。成人式は、阿久根市民会館ホールで開かれます。

みなさん、全員ご出席ください。十時きっかり開会いたしますので、遅れないようにご注意ください。◇服装のことに気になさらず全員ご出席くださつて有意義にお祝いいたしまし

きようから成人



阿久根恋しや

作詩 俵 松五郎
作曲 大西 佳加

一、恋の不知火 ぬくめた潮

阿久根しとおて 流れてかよう
かすむ長島 おぼろに見えて
ここは想いの ここは想いの 黒の瀬戸

二、愛のさ、やき 野じかの声に

招く大島 磯の香むせぶ
ゆれるなぎさにも すそもぬれて
いとし阿久根の いとし阿久根の 鳴くかもめ

三、いでゆ香れば 千鶴の里も

情流して 高松川の
潮と抱き合う 阿久根の港
銀のウロコが 銀のウロコが 陽に映える

四、色も緑に 磯馴れ松の

あれは脇本 真砂の浜よ
島をぬうよな 天草通い
阿久根湯の街 阿久根湯の街 詩の街



阿久根大島の「しか」



市 章

市民の融和と躍進する阿久根市を象徴する
昭和27年4月市制実施を記念して制定された